

令和8年7月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和8年7月 17 日(金)

時 間 午前 10 時～午前 11 時(予定)

発 表 内 容

- 1 ふるさとつながるプロジェクトについて ……………<地域産業振興課>
- 2 脱炭素社会の実現に向けたパークアンドライドの実証調査について
……………<交通政策課>
- 3 脱炭素先行地域事業における太陽光発電設備の発電量等について
……………<総合政策課>
- 4 佐渡市における令和5年度市内総生産等の状況について
……………<総合政策課>

【事前質問】

- ① 「佐渡島の金山」の世界遺産登録から2年となります。
2年が経過しての所感と3年目に向けた抱負をお聞かせください。
また、今年の夏、佐渡市として予定しているイベントや、観光サービスなどがあったら教えてください。
(世界遺産課・観光振興課)
- ② 昨年8月に発生した大雨による土砂崩れで、いまだに小木などでは通行止めが続いている場所があります。市で管理しているもので、現在、この大雨による通行止めは、島内に何箇所ありますか。
また復旧できない理由はなんですか。(建設課・農林水産振興課)
- ③ 今年 10 月に開催が予定されている、佐渡では初となるトレイルランニング大会ですが、5月から始まっている参加者の申し込み数や、寄せられている感想などもあれば教えてください。
(文化スポーツ課)
- ④ 今秋の開催に向けて調整を進めている佐渡市での拉致問題に関する集会について、開催日程の調整など進捗状況を教えてください。(総務課)

市長記者会見発表内容 要旨 (R8. 7. 17)

1 ふるさとつながるプロジェクトについて

<概要>

- 市内企業や地域の皆さまとともに若者を応援し、将来「佐渡で暮らす」「佐渡で働く」という選択肢につなげていく新たな仕組みとして、「ふるさとつながるプロジェクト」をスタートします。
- 働く人や仕事の魅力を若者目線で発信する「島の推しごとグランプリ」を今年度も実施します。11社の企業からエントリーしていただき、今年度は高校生に加え、中学生も市内企業を取材し、佐渡で働く人の魅力を島内のほか、全国へ発信します。
また、昨年度エントリーした企業も運営に携わっていただくなど、連携して取り組みます。
- 昨年に引き続き、「佐渡出身学生応援ギフト」事業として、島外で学ぶ佐渡出身の学生に佐渡の特産品をお届けするとともに、若者を応援していただける協賛企業を募集し、市内企業の情報や就職支援制度などを紹介します。
- 地域教育として、小・中学校から地域を知り、高校で地域の仕事に触れ、進学後も佐渡とのつながりを持ち続ける、その積み重ねにより、将来「佐渡で暮らし、働きたい」と思える地域づくりを官民連携で進めていきます。

【参考】「島の推しごとグランプリ」エントリー者

No	会社名	エントリー者
1	株式会社アジアンドキュメンタリーズ	陳 子涵
2	株式会社近藤組	和田 匠太
3	佐渡市消防本部	市橋 遼一
4	佐渡水産物地方卸売市場（佐渡魚市場）	木村 章平
5	佐渡農業協同組合	犬嶋 蓮
6	さどやニッポン株式会社	平間 京
7	サンフロンティア佐渡株式会社 水産加工場	齋藤 涼汰
8	テクノアート株式会社	野田 奏美
9	にじいろや	田中 由紀
10	有限会社へんじんもっこ	渡邊 省吾
11	株式会社リライフ	近藤 聖子

2 脱炭素社会の実現に向けたパークアンドライドの実証調査について

<概要>

- 脱炭素の取組として、市民センターや佐和田バスステーションの駐車場を活用したパークアンドライドの実証調査を8月1日から11月末まで、新潟交通佐渡株式会社と連携し行います。
- 自宅から自家用車で最寄りの市民センターや佐和田バスステーションの駐車場まで移動し、その先は路線バスを利用して目的地まで移動するものです。
自家用車での移動距離を減らすことで、二酸化炭素排出量の削減につながるほか、公共交通の利用促進や交通渋滞、駐車場不足の緩和など様々な効果が期待されます。
- 「バスの日」にちなみ、9月20日（日）に市内路線バスの無料乗車を実施します。
- 一人ひとりの移動手段を見直すことが、環境負荷の軽減につながり、佐渡の豊かな自然を守ることにもつながりますので、積極的なご利用をお願いします。

【参考】利用可能な駐車場一覧

区分	場所
行政	相川市民センター
	佐和田市民センター
	新穂市民センター
	畑野市民センター
	真野市民センター
	小木市民センター
	羽茂市民センター
	赤泊市民センター
民間	佐和田バスステーション駐車場

※利用時間は、概ね72時間を目途にご利用いただけます。

3 脱炭素先行地域事業における太陽光発電設備の発電量等について

<概要>

- 今年4月1日から本庁舎、新穂市民センター、各消防署の7施設で運用を開始しており、4月・5月の7施設全体の電気使用量は167,435 kW、うち再エネ電力使用量は28,951 kWとなり、各施設での再エネ利用割合は平均で20%でした。
CO2の排出量は、前年同期と比べて75 t から、62 t へ、13 t 削減されました。また、対

象施設の電気料金については、庁内の節電意識を含めて、４月と５月の昨年比で２％、およそ１４万円程度削減しました。

- ６月１日からは、市民センターと佐渡市総合体育館、佐渡中央文化会館の計９施設においてプレ運用を開始しています。今後、市ホームページで全１６施設の発電状況を公表します。

本庁舎１階の多目的スペースにおいて、各施設での発電量などを確認できるモニター表示を行っていますので、ご来庁の際にご覧ください。

- 施設ごとの発電量とコストの調査・分析を行いながら、エネルギーマネジメントシステムによる効率の良い再生可能エネルギーの活用を推進し、地域課題である防災力の強化と資源循環を解決に導くエネルギー政策を進めていきます。

【参考】運用開始中の１６施設

４月１日運用開始施設 計７施設	６月１日運用開始施設 計９施設
佐渡市役所本庁舎	両津市民センター
新穂市民センター	相川市民センター
消防本部	佐和田市民センター
両津消防署	畑野市民センター
両津消防署海府分遣所	小木市民センター
相川消防署高千出張所	羽茂市民センター
南佐渡消防署	赤泊総合文化会館（赤泊市民センター）
	佐渡市総合体育館（ヒルトップアリーナ佐渡）
	佐渡中央文化会館（アミューズメント佐渡）

４ 佐渡市における令和５年度市内総生産等の状況について

【配布資料あり】

<概要>

- 新潟県では、県内各市町村における経済活動の規模や構造、所得水準などを「市町村民経済計算」としてとりまとめており、令和５年度分の統計データが公表されました。
- 令和５年度の佐渡市の総生産は１,６９８億円で、前年度に比べておよそ９０億円の増、経済成長率はプラス５.６％で、３年連続のプラス成長となりました。
- 主な増額の要因は、宿泊・飲食サービス業が前年度に比べておよそ３５億円の増となったことであり、コロナ禍前の令和元年度と比較しても２０億円の増となっていることから、観

光の高付加価値化による旅行消費額の増加が市内総生産の底上げに繋がっているものと分析しています。

- 令和5年度は世界遺産登録に向けて盛り上がり始めた年であり、令和6年度以降は登録効果から観光入込が順調に伸びてきているため、市内生産額についても一定程度増加していくのではないかと見込んでいます。
- 今後も交流人口の拡大や二地域居住の促進など、島に人を呼び込みながら経済の活性化を促し、人口減少社会の中にあっても1,600億円程度の経済規模を維持していきたいと考えています。
- 1人当たりの所得額では、佐渡市は257万8千円で、前年よりも22万9千円増加しましたが、県内30市町村で28番目に留まっている状況です。

1人当たりの所得額は、単純に個人の給与や所得の水準を表すものではなく、雇用者報酬や企業の利潤などの合計額を市町村の総人口で割り返して計算するものであるため、高齢者の割合が多く、給与所得が少ない人口の多い自治体の順位が低くなる傾向が見られます。

- 所得額の向上に向けて、引き続き雇用機会の創出や移住定住の施策強化、観光を含めたサービス産業による産出額の増加を図るとともに、健康寿命日本一に向けた取り組みのなかで就労に意欲的なアクティブシニアを増やし、島民全体の所得の向上を目指していきます。

【事前質問】

- ① 「佐渡島の金山」の世界遺産登録から2年となります。

2年が経過しての所感と3年目に向けた抱負をお聞かせください。

また、今年の夏、佐渡市として予定しているイベントや、観光サービスなどがあったら教えてください。

- ・ この2年で観光客数は着実に増加しており、直近の今年1月から5月の入込客数は2年前と比べて約15%増加しています。

また、関西圏や中部圏など、首都圏以外からのお客さまが増加傾向にあることから、「佐渡島の金山」の認知が徐々に浸透してきているのではないかと考えています。

- ・ 世界遺産登録3年目を迎えますが、現状のペースでいけば、今年55万人は手が届くところまで来ており、これから来年の目標である60万人達成に向けて取り組んでいきます。
- ・ 60万人を目指すにあたっての課題は、初春と秋口の更なる誘客で、ゴールデンウィーク

のある5月や盆の8月はすでにどの宿も満室であること、冬の1月から2月は船の欠航等を踏まえると、それ以外の時期を伸ばす必要があります。

- ・ 課題を解決する手段として、一つは、日本人とは異なる季節感で来訪し、平日も需要のあるインバウンドの誘客です。もう一つは、紅葉や星空、夕日、トレッキング、キャンプなど、まだまだ埋もれている春や秋の佐渡の魅力を発信し、誘客につなげていきたいと考えています。世界遺産をきっかけに佐渡の様々な魅力を知っていただき、2度、3度と足を運んでいただくりピーター獲得に繋げていきます。
- ・ 世界遺産登録2周年に伴うサービスは、登録記念日となる7月27日に、きりりうむ佐渡・佐渡奉行所・相川郷土博物館の世界遺産関連施設を入館無料として開放するほか、当日に来館いただいた方を対象に、先着順で記念品を贈呈します。
- ・ 前日の7月26日には、両津港と小木港でお客さまを歓迎するイベントを実施予定です。

② 昨年8月に発生した大雨による土砂崩れで、いまだに小木などでは通行止めが続いている場所があります。市で管理しているもので、現在、この大雨による通行止めは、島内に何箇所ありますか。

また復旧できない理由はなんですか。

- ・ 昨年8月の豪雨災害により、市が管理する道路の通行止め箇所は、市道28箇所、林道9箇所、農道1箇所の合計38箇所となっています。
- ・ このうち、14箇所は現在災害復旧工事の施工中の通行止めであり、年度内の復旧完了を目指して取り組んでいるところです。
- ・ また残りの24箇所については、国の災害査定は終わっていますが、その後の調査、設計、協議に時間を要しており、8月までに入札を終える見込みの箇所が12箇所、残りの12箇所については年内の工事発注を目指して進めているところです。

③ 今年10月に開催が予定されている、佐渡では初となるトレイルランニング大会ですが、5月から始まっている参加者の申し込み数や、寄せられている感想などもあれば教えてください。

- ・ トレイルランニング大会の申込状況については、7月10日現在でロングコース（約49km）は250名、ミドルコース（約29km）は100名です。
- ・ 寄せられたお問い合わせは、これまでコースについてはgoogleマップの画像による平面的なコース案内だったため、コースの詳細や具体的な高低差などのお問い合わせが多く

きています。

そのため、コースの詳細を把握できるよう、大会ホームページに新たに緯度・経度・高度を掲載し、コースの高低差や地形を分かりやすくしました。

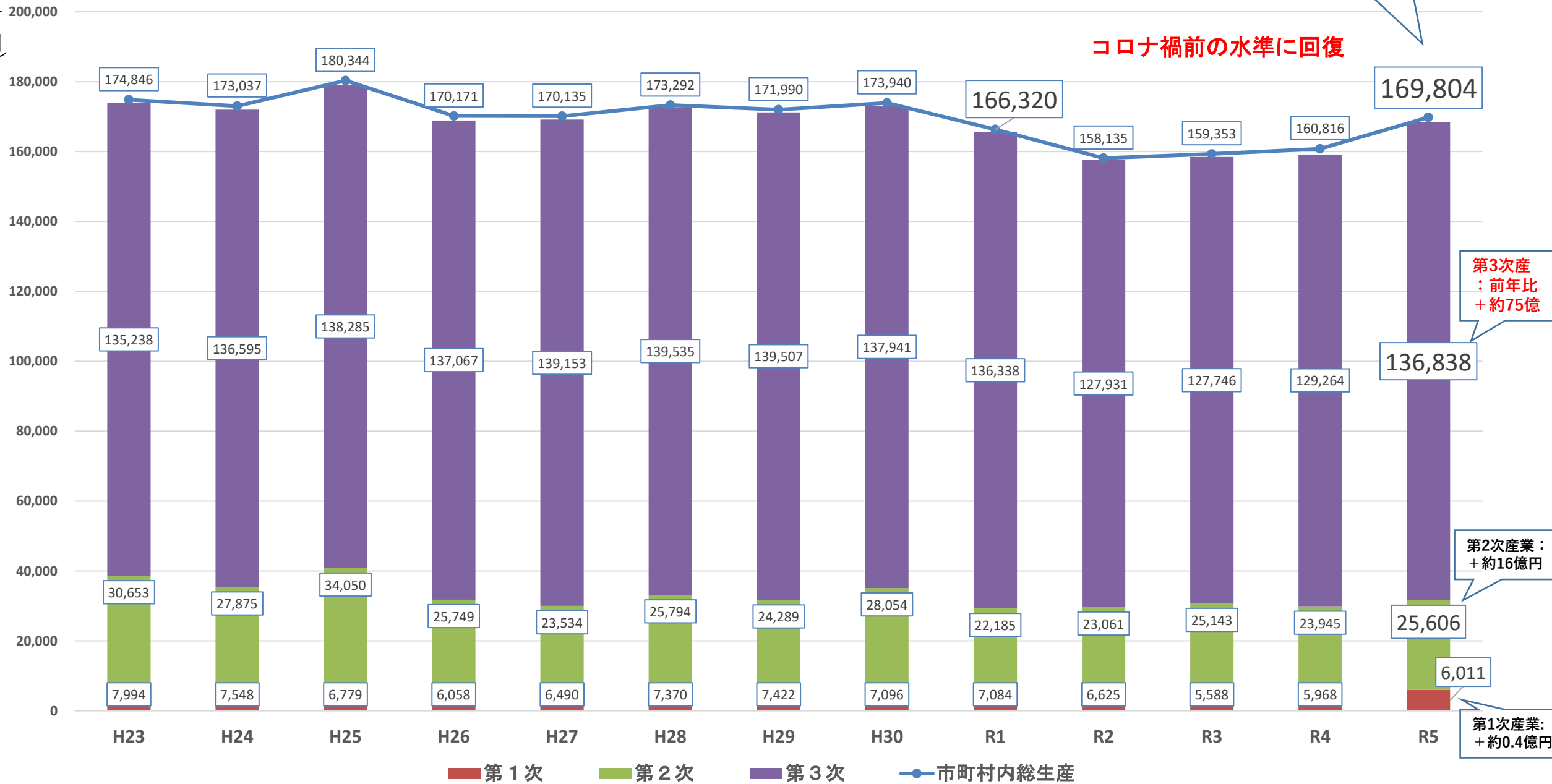
- ・ ミドルコースは定員に達していますが、ロングコースは7月31日まで募集しています。

④ 今秋の開催に向けて調整を進めている佐渡市での拉致問題に関する集会について、開催日程の調整など進捗状況を教えてください。

- ・ 「拉致被害者関係市連絡会」で提案した本市での集会の開催について、国をはじめ関係機関と調整していますが、今年度の開催は非常に厳しい状況です。
- ・ 集会の開催にあたり、内閣官房とアメリカ大使館からもご参加いただきたいと考えています。調整には時間がかかりますが、来春以降の開催に向けて、拉致関係3市で連携し、全国に発信できる形で準備を進めていきます。

佐渡市内総生産額の推移（H23～R5）

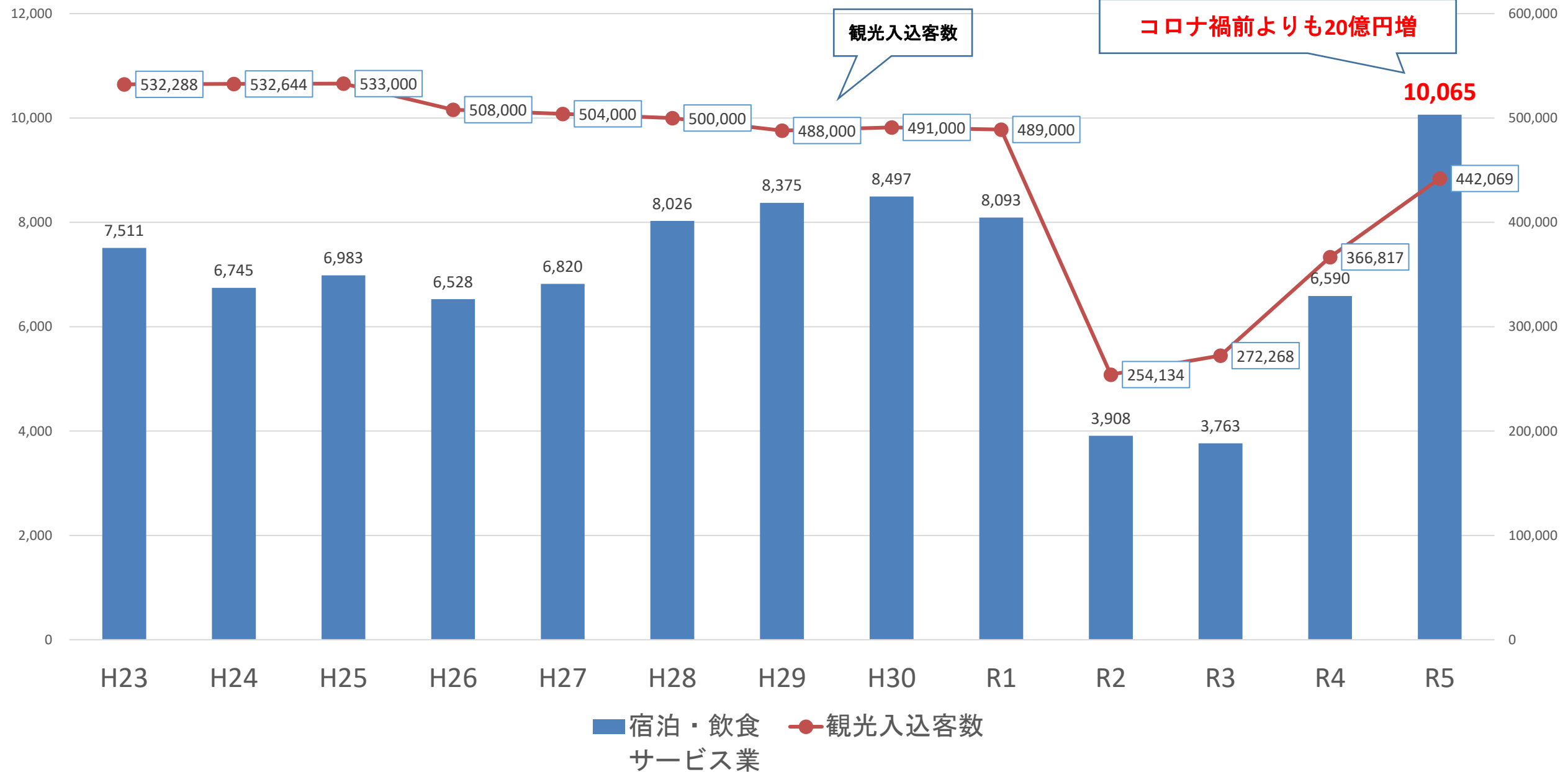
(百万円)



宿泊・飲食サービス業の生産額と観光入込客数の推移

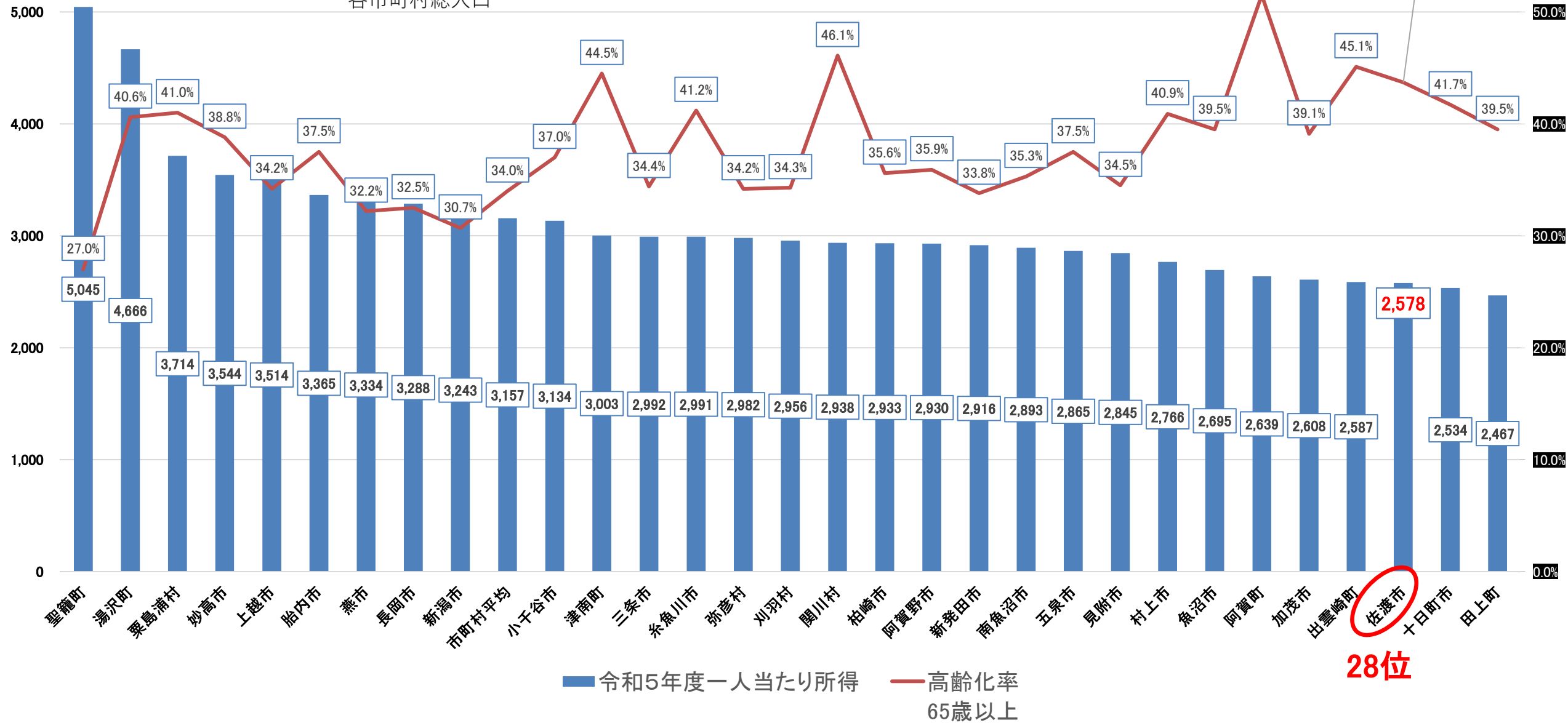
人

(百万円)



R5新潟県内自治体 一人当たり所得と高齢化率

1人当たり市町村民所得 = $\frac{\text{市町村民所得}}{\text{各市町村総人口}}$



28位

令和5年度

市町村民経済計算の概要

令和8年5月29日

新潟県総務部

担当：統計課 調査解析班 村井

電話 025-280-5122（直通）

メール ngt010190@pref.niigata.lg.jp

1 県経済の概況

令和5年度の県内経済の動きをみると、原材料価格の上昇による影響などがみられたものの、緩やかに持ち直しの動きがみられた。企業収益は、価格転嫁が進んだことなどから前年度を上回った。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による外出機会の増加などを背景に、改善の動きがみられた。

2 市町村内総生産

- 各市町村の経済成長率をみると、21市町村（14市4町3村）でプラス成長、9市町村（6市2町1村）でマイナス成長となった。（表1、図1）
- 各市町村の経済成長率に対する寄与度をみると、プラス成長となった21市町村のうち8市町村で建設業が最も増加に寄与した。また、マイナス成長となった9市町村のうち8市町村で製造業が最も減少に寄与した。（表1）

表1 令和5年度市町村内総生産

市 町 村	実 額 (億円)	経済成長率 〔対前年度 増加率(%)〕	構成比 (%)	経済成長率に対する寄与度が 最も大きい経済活動	
				経済活動	寄与度 (%)
市 町 村 計	94,622	4.5	100.0	電気・ガス・水道・廃棄物処理業	2.1
新 潟 市	33,256	2.8	35.1	金融・保険業	0.7
長 岡 市	12,349	3.5	13.1	製造業	1.7
上 越 市	9,956	13.9	10.5	電気・ガス・水道・廃棄物処理業	9.3
三 条 市	3,926	5.4	4.1	製造業	1.7
柏 崎 市	3,089	▲ 2.6	3.3	製造業	▲ 4.1
新 発 田 市	3,420	3.7	3.6	宿泊・飲食サービス業	1.3
小 千 谷 市	1,574	2.1	1.7	建設業	2.2
加 茂 市	735	▲ 5.3	0.8	製造業	▲ 4.3
十 日 町 市	1,492	3.0	1.6	宿泊・飲食サービス業	2.4
見 附 市	1,346	▲ 0.6	1.4	製造業	▲ 3.5
村 上 市	1,965	2.4	2.1	建設業	3.6
燕 市	3,719	▲ 2.8	3.9	製造業	▲ 2.4
糸 魚 川 市	1,692	22.3	1.8	製造業	17.1
妙 高 市	1,654	8.2	1.7	製造業	5.5
五 泉 市	1,672	▲ 3.7	1.8	製造業	▲ 5.5
阿 賀 野 市	1,561	▲ 6.3	1.6	製造業	▲ 6.3
佐 渡 市	1,698	5.6	1.8	宿泊・飲食サービス業	2.2
魚 沼 市	1,163	1.6	1.2	製造業	1.4
南 魚 沼 市	2,234	5.1	2.4	建設業	1.1
胎 内 市	1,625	3.7	1.7	製造業	2.4
聖 籠 町	1,919	63.3	2.0	電気・ガス・水道・廃棄物処理業	64.6
弥 彦 村	278	▲ 0.0	0.3	製造業	▲ 3.2
田 上 町	251	3.5	0.3	宿泊・飲食サービス業	3.1
阿 賀 町	397	0.6	0.4	建設業	1.2
出 雲 崎 町	121	▲ 3.3	0.1	製造業	▲ 4.2
湯 沢 町	682	▲ 0.1	0.7	建設業	▲ 9.1
津 南 町	449	3.5	0.5	建設業	3.7
刈 羽 村	198	5.0	0.2	建設業	2.9
関 川 村	182	10.6	0.2	建設業	12.8
栗 島 浦 村	19	22.5	0.0	建設業	14.9

図2 市町村民所得(分配)項目別増加寄与度

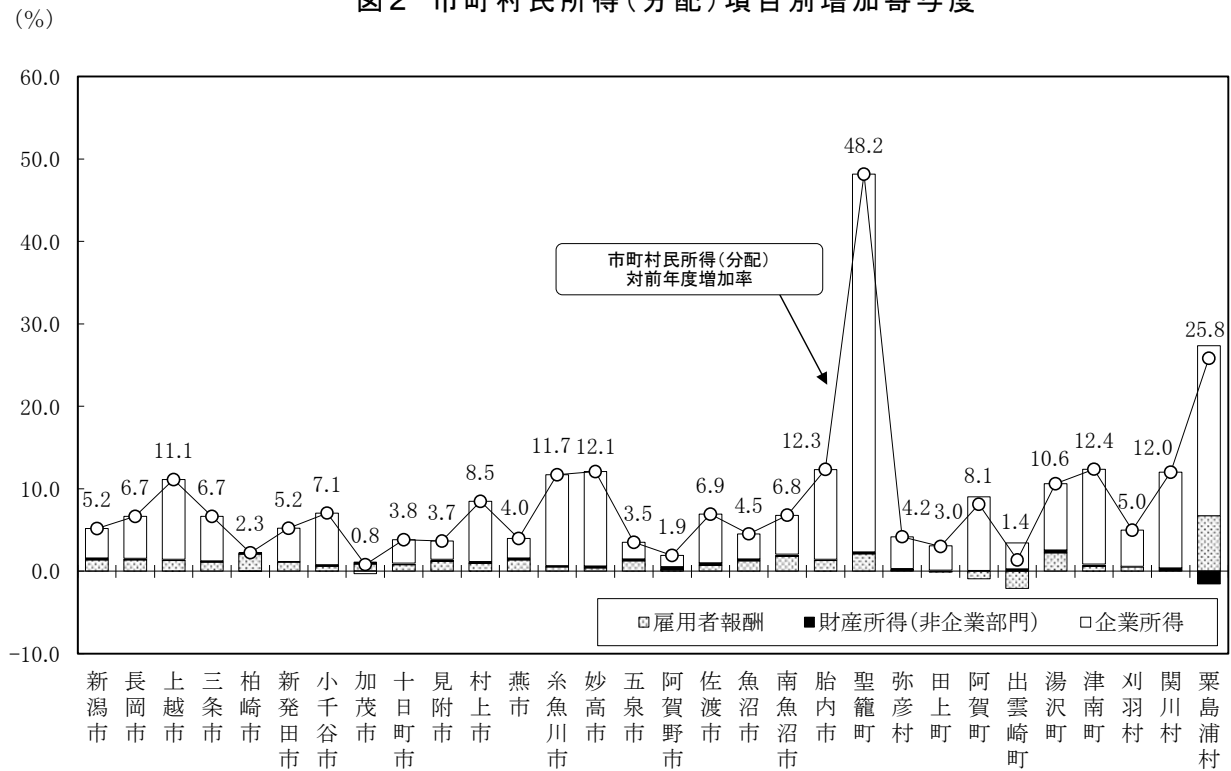


図3 1人当たり市町村民所得

